

出島石組と池中立石

これらの大小の岩は、日本最古の庭造りのマニュアルに従って、巧みに配置されています。11世紀の『作庭記』には、理想的な庭とされるものをつくるための具体的な指示が書かれています。これらの岩のような特別な要素は、自然の風景を模倣するために取り入れられました。

2011年の東日本大震災と津波で、立石は元の場所から移動しました。修復作業によって、立石は、その大きさにもかかわらず、もともと考えられていたほど深く埋められていなかったということがわかりました。